

# 6月の園だより

学校法人 鶴来学園

鶴来第一幼稚園

6月といえば梅雨入り後の雨の多い時期ですが、不思議なことに別名で「水無月」といいます。由来を調べてみると「無」は「の」の転訛で「水の月」といい田植え後の田にある水のことを言ったようです。日本語には農耕や自然の移ろいを麗しく表現した言葉が多く、子どもたちには園周辺や園庭の豊かな自然環境を通じて様々なことを学んで欲しいと思います。

さて、小学校ではこの時期、夏に向けてアサガオの栽培に取り組むところが多いようです。栽培用のキットは教材の販売会社から購入するわけですが、一口にアサガオの種と言っても実はいろいろな種類が販売されています。その中で今も昔も変わらず最も売れているのはどのような種なのでしょうか？きれいな紫色の花を咲かせる種？それとも涼し気な青色？あるいは可愛らしい赤色の花を咲かす種でしょうか？

答えは！「誰がどの様に育てても、必ず咲く（失敗しない）種」なのだそうです。理由は「咲く子と咲かない子がいると不公平だから」「咲かなかっただけなら可哀相だから」と考える大人がいるからだそうですが、果たして本当にそうなのでしょうか？

植物も命だということ、生き物（命）は大切に育てないと育たないということ、どれだけ大切に育てても残念だけど育たないこともあるということ、同じ種なのに咲くものと咲かないものがあるのはなぜ？などクラス全員の花が同じように咲いた時よりも、咲いた場合と咲かなかった場合の両方を経験することが出来た子どもたちの方が、より多くのことを学ぶことでしょう。そして咲かなかった子に対して「僕の（私の）種を分けてあげるよ！」など、思いやりの気持ちもきっと育むことでしょう。

これまでも第一幼稚園では、園庭の畑を教育の場として活用しさまざまな野菜などを育ててきましたが、今年はジャガイモやさつまいもなど、皆で同じものを育てているのと並行して年長組は子どもたち自らが選んだ野菜を育てています。すぐ隣に違う種類の野菜が同居する畝は、普通の農家の畑では決して見ることが出来ない姿です。順調に育つのか育たないのか？どのように育つのか？新たなチャレンジだからこそ得られる学びがそこにはきっとあると思います。

順調に育つのか育たないのか？どのように育つのか？こどもたちがやることに失敗はありません。たとえ上手くいかなくても、それらすべてが貴重な経験の機会です。既存の概念や価値観に囚われず、失敗を恐れずに新しいことにチャレンジして欲しいと思います。やったことがないことをやりたがる子、諦めない子、工夫する子が増えて「どうせ無理」に負けない子どもたちが育ち、その子達がいつか大人になって、日本や世界を良くしていくことでしょう。できない理由を探すのではなく、できる理由を考えられる、そんな子どもたちが鶴来学園から一人でも多く育ち、世界へと羽ばたくことを願っています。

幼稚園統括園長

中嶋 謙仁

## 子どもたちの姿（6月）＊抜粋

- ▶ 砂場で本物のフライパンや鍋を使っているからか「いらっしやいませー」「ありがとうございます！レシートです」など、本物のようなりアルなおままごとをする子どもたち
- ▶ 給食のメロンパンに大喜びの子供たち、メロンだと思っていた何人かの子どもが「メロンじゃない！」と怒ったら「メロンソーダとか、メロンキャンディーとか、メロンが入ってなくてもメロンってつくやろ？だからいいよ」と丁寧に友だちに説明する姿
- ▶ 運動会の練習で年長組の子に、かけっこの順位のところまで連れて行ってもらう年中組の子。その姿が微笑ましい
- ▶ 片付けの時「キャーキャーって大きな声出したら、動物園にいかんなんゾ〜」と副担任のよう話してくれて、子ども同士でクラスを盛り上げる姿
- ▶ グループ活動で計画書を作る時に、グループによっては誰が書くかで揉めたり、なかなか意見がまとまらないところもあったが、それぞれ「こうしたらいいんじゃない？」「これを使おう」など、楽しみながら計画する子どもたち
- ▶ サツマイモを植える土作りの時に「これくさいげん」「なんか変な匂いする」と言いながらも「元気な土になるんや！」と言いながら（理解しながら）ぼかしの肥料を撒く姿、生き物に興味津々で土に顔がくつきそうなほど眺める。これなんだろう？という発見や興味を持って色んなものを見る姿
- ▶ 話の聞き方について話をした時、「お話ってどこで聞くとする？」って聞くと「耳」ってすぐに返事が返ってきた。「あとは？」と聞くと数人が「頭」と答えた。大切な話は「目と耳と心で聞く」ことを少しづつ理解している子どもたち
- ▶ 年長組の当番活動に興味を持つ年少組の子、給食の食器を給食室へ運ぶ手伝いをこども自ら進んで「やりたい！」という子どもたち

## 6月の指導計画

各学年の6月のねらいです。幼稚園では各クラス担任が下記の指導案に基づき、子どもたちの学びと育ちをサポートします。各ご家庭においても今月のねらいをご理解いただき「今日は幼稚園でどんなことをしたの？」などとお子さまとコミュニケーションしたり、幼稚園でのねらいと同じような視点でお子さまと接していただくことでお子さまの成長を感じて頂ければと思います。

### ねらい

- |     |  |
|-----|--|
| 年長  | 互いに思いや考えを伝え合いながら、友だちと一緒に遊びを進める楽しさを味わう<br>身近な用具や素材の特性を生かして、試したり工夫したりする楽しさを味わう<br>梅雨期の自然の変化や動植物の様子に気づき、遊びに取り入れて楽しむ |
| 年中  | 梅雨の時期の自然現象に興味を持ち、雨やアジサイ、カタツムリなど、様々なものに関心を寄せる<br>保育者や友だちに親しみや関心を持って関わり、一緒に遊ぶことを楽しむ                                |
| 年少  | 簡単な身の回りの始末を自分でしようとする<br>梅雨期の自然に興味を持ち、見たり触れたりして親しむ  |
| 未満児 | 梅雨期を快適に過ごす<br>保育者や友だちと一緒に梅雨期の自然に興味をもつ  |